

# 令和7年度



# 春日部市立藤塚小学校

# グランドデザイン

かすかべっ子はぐくみプラン

「伝えあい」「学びあい」「育ちあい」「思いあい」が  
うれしい教室 うれしい学校

教育委員会指導課の重点施策

- ① 特色ある学校づくりの推進
- ② 基礎学力の定着及び向上
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 心身の健康づくりと体力向上
- ⑤ 社会の変化に対応した教育の推進
- ⑥ 教職員の資質の向上
- ⑦ 人権教育の推進
- ⑧ 特別支援教育の推進

SDGs～持続可能な開発目標～  
春日部の教育に関する6つの目標



【学校教育目標】 豊かな心を持ち、進んで学び行動できる子

【具体目標】 進んで学ぶ子  
心豊かな子  
明るくたくましい子

進んで学び、深く考え表現できる子  
思いやりの心を持ち、協力し助け合う子  
心身共に健康で、根気よく取り組む子

日本国憲法 教育基本法  
学校教育法 学習指導要領 等

第4期埼玉県教育振興基本計画(R6～10年度)  
基本理念「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」

- I-IV 確かな学力・豊かな心・健やかな体・自立する力の育成
- V 多様なニーズに対応した教育の推進
- VI 質の高い学校教育のための環境の充実
- VII 家庭・地域の教育力の向上
- VIII 生涯にわたる学びの推進
- IX 文化芸術の奨励
- X スポーツの推進



<目指す学校像> 一人一人が輝く、みんなで輝く  
元気いっぱいの学校

<目指す児童像> ○知恵いっぱい  
○笑顔いっぱい  
○元気いっぱい



「児童の育ち」を真ん中に

日々の授業・学級経営を基盤として、  
教師は学びの実感（伝えあい・学びあい）のある授業を実践し  
児童の笑顔と意欲（育ちあい・思いあい）あふれる学校に

<目指す教師像>

- 教育への情熱と使命感をもつ
- 学びの実感ある授業を展開する（資質向上）
- 人間的な魅力を高める（多様な経験、読書）

確かな学力を身に付けさせる（◎強化事項）

基礎学力の定着・向上

- ◎ 学びに向かう環境を整える、学習ルールの徹底
- ◎ 授業を充実させるための板書計画
- ◎ 教師は授業で学び方を教える
- ◎ 読書習慣を身に付けさせる
- ・国語授業の充実
- ・表現に必要な語彙を増やし定着させる
- ・算数授業の充実
- ・学力向上のPDCAサイクルを機能させる
- ・家庭学習の定着

社会の変化に対応できる能力の育成

- ◎ 情報端末を活用した授業・学習活動
- ◎ 地域人材や外部講師の活用、体験学習の実践
- ・外国語教育の充実
- ・デジタル社会における「善き社会の担い手」の育成
- ・教科横断的なSDGsの視点

令和7年度研究主題

自分の考えを表現し、学び合う児童の育成  
～読む力を高める、国語科を中心とした授業づくり～



表現する力

デジタルシテ  
ィズンシップ教育

豊かな心を育てる

教育環境の整備

- ◎ 言語環境の徹底
- ◎ 花と緑の移り変わりや季節ごとの感受性の醸成
- ・無言清掃の徹底
- ・掲示環境の工夫

規範意識や人権意識の向上

- ◎ いじめ・差別・不登校を生まない、あたたかく居場所のある学級経営・学年経営
- ◎ 迅速・丁寧な初期対応と組織的対応
- ・人権教育の推進
- ・自発・協働性を高める行事や活動
- ・道徳授業の充実
- ・異学年交流時間の確保
- ・多様性を認め柔軟に対応

地域に開かれた特色ある教育活動の推進

- ◎ 学校を核とした地域づくり
- ◎ 学校運営協議会の充実
- ◎ 地域の人材や物的資源の活用
- ・継続的な学校経営方針の周知
- ・幼保及び中学校区の連携
- ・社会教育課・PTAとの連携

教職員のウェルビーイングを確保

- ◎ 教職員が能力を発揮できる組織風土の醸成
- ◎ 従来の慣習や枠組みに捉われない多様な学校経営改善
- ◎ 校務DXの推進 校務システムの構築
- ◎ 教職員事故ゼロ
- ・ライフステージに応じた指導

安心・安全を確保

体力向上と健康増進

- ◎ 運動の機会と時間の確保
- ◎ 適切な健康指導
- ・楽しい学校給食と食育

学校内外の安全・安心

- ◎ 年間を通じた計画的・効果的な安全意識の向上
- ◎ 豊野地区見守り活動推進協議会、災害対策協議会、少年育成会との連携強化

命の大切さと心身の安全・安心

- ◎ いのちの安全教育の推進
- ◎ いじめや差別を許さない、あたたかく居場所のある学級・学年経営
- ◎ 迅速で丁寧な初期対応と組織的対応、未然防止

教職員の不祥事根絶

- ◎ 交通事故防止を重点とした、日常的な安全運転意識の啓発
- ◎ ハラスメントのない、個が能力を発揮できる集団づくり
- ◎ 積極的業務改善・・・教職員のゆとり（児童に向き合う時間）重視
- ◎ 教職員間のコミュニケーション促進（笑顔と心配り）
- ◎ 情報端末の適切な使用と情報漏洩への注意